

日本ブドウ・ワイン学会 (ASEV JAPAN)

第 135 回常任理事会議事録 (案)

日 時：令和 8 年 4 月 15 日(水) 15:02-16:06

場 所：参加 Teams ミーティング

出席者：会長：大滝，事務局長：奥田，書記：中尾，理事：小原，小林，齋藤（寿），澤邊，武井，編集委員長：小田，事務局：井上，金澤，久本，渡辺（斉藤）

■報告事項

1. 創森社から出版するテキストの作成状況（大滝，奥田）

奥田事務局長および大滝会長より，現在原稿の編集作業を継続中と報告があった。

2. 2026 年大会（京都）の進捗現況（澤邊，久本）

澤邊大会担当理事および久本事務局員より，資料に基づき 2026 年大会（口頭発表，ポスター，特別講演，セミナー）を京都大学農学部で開催である。現在，特別講演者およびセミナー講演者を選定調整していると報告があった。

3. 編集委員会現況（小田）

小田編集委員長および久本事務局員より，資料に基づき 2025 年度 36 巻 2 号を発刊済みであること，37 巻 1 号（6 月発刊）の編集作業を進めていると報告があった。

4. その他

事務局報告. 渡辺（斉藤）事務局員より，資料に基づき現在の会員数と新入会員の状況および会費納入状況について報告があった。

■協議内容

1. 2027 年大会の開催地について（澤邊，久本）

奥田事務局長より，大会の開催地について意見徴集が行われた。その結果，澤邊大会理事より提案のあった近畿大学農学部（奈良）での開催が承認された。

2. 役員選挙および体制の見直しについて（小松，奥田）

奥田事務局長より，以下の提案があり協議が行われた。

次期会長の選定：会長の任期満了にともなう交代について説明があり選定は継続となった。

評議員の構成の再編：ブドウ・ワイン産地の分布状況にあわせて，地域構成を見直すことが示された。大滝会長より，既存の団体への配慮も含めて地域構成を見直す提案がされ，継続審議となった。

理事の退任と後任：小原学会賞担当理事より退任の申し出があり，了承された。後任は継続

審議となった。

3. 常任理事の役割分担の見直しについて（奥田）

奥田事務局長より、学会業務の内容に従い役割分担を検討したいとの提案があり、承認された。詳細は継続審議となった。

3. 学会誌編集について（小田）

2026 年度 37 巻 1 号は 6 月に発刊予定で、巻頭言、研究報文（2 報）、学術情報（8 報）、AJEV 英文抄録、常任理事会報告を掲載と説明があり、承認された。

澤邊大会理事より、大会報告の担当を澤邊氏から井上氏への交代することが提案され、承認された。

4. アメリカブドウ・ワイン学会参加について（奥田）

奥田事務局長より、奥田氏が 2026 年アメリカブドウ・ワイン学会大会（6 月ボイシ）に参加し、折衝に対応すると説明があり、承認された。

5. その他

なし。

以上